

第2回 県と市町の新しい関係づくり協議会 総会 議事要旨

日 時 平成19年2月13日(火) 15:40~17:20

場 所 三重県自治会館4階ホール

出席者 別紙のとおり

挨拶 三重県知事

閉会挨拶 三重県町村会会長 服部 菰野町長

議 長 三重県 望月副知事

司 会 政策部(地域支援分野)辰己総括室長

内容説明

1 協議事項

(1) 各検討部会・研究会の活動報告等について【資料1】

県と市町の役割分担のあり方検討部会

《含. 包括的権限移譲について》(地方分権・合併室 橋爪室長)

市町財政運営のあり方研究会(市町行財政室 河野室長)

地方債発行のあり方研究会(市町行財政室 河野室長)

「新しい時代の公」と文化力を生かした検討部会(企画室 竹内室長)

県土づくりのあり方に関する検討部会(西城 戦略計画策定特命監)

情報システム等の共同化検討部会(情報政策室 鳥井室長)

(2) 今後の取組について【資料2】(地方分権・合併室 橋爪室長)

2 報告事項

(1) 平成19年度三重県当初予算について【資料3】(総務部 中尾部長)

(4) 公共調達に関する県の取組について【資料6】(総務部 中尾部長)

(2) 「こころのふるさと三重」づくりについて【資料4】(政策部 村林部長)

(3) 平成19年度地方財政対策について【資料5】(市町行財政室 河野室長)

3 意見交換

平成19年度の検討部会の取組について

【熊野市長】平成19年度新規の検討部会の「民間活力のあり方に関する検討」について、方向性としては必要と思われるが、熊野市では、指定管理者制度、市場化テストをしっかりと担える組織、民間事業者等があるのかという面がある。先程の神野教授のお話でもあがっていた、効率性を踏まえた「大きな政府」論調も考慮すると、この検討ポイントだけでは、県南部の方の実状が抜け落ちている懸念がある。行政が民間分野に入っていく際に注意するような事も検討

する必要が思われるので、議論の中に入れてもらおうとありがたい。

【地方分権・合併室長】御指摘の通り、行政と民間のあり方について広く検討していく必要があると考えられるので、検討部会の具体的なテーマや進め方は、協議の上で進めていく。しかし、全ての市町が参加する訳ではないので、参加メンバーの中で具体的な協議内容を詰めていくことになると思われる。

【副知事】事務局は地域の実状を踏まえた検討をすること。

平成 19 年度三重県当初予算について

【名張市長】以前から市長会・町村会において、市町で独自で行う事業に対する、県のサポート体制の充実強化を要望していたが、当初予算で市町への振興貸付金を創設し、支援していただくことにお礼を申し上げたい。

また、この制度は厳しい財政事情において、重宝であるため、その活用内容について有効な事例があれば、情報提供して欲しい。

「こころのふるさと三重」づくりの取組について

【松阪市長】「こころのふるさと三重」づくりの取組は、基本的に御遷宮、熊野古道の取組を中心としているが、ところどころで県全体の取組としてある。その基本構想検討委員会に松阪市は入れてもらうことはないと思われるが、一定の役割を果たしていく必要があると考えている。そのため、取組状況の経過について情報提供をお願いするとともに、一定の役割も担っていきたいと思う。

【政策部長】説明不足で申し訳ないが、「こころのふるさと三重」づくりの取組は、県全体・全域のイベントとして考えている。全市町から意見を聞く訳にもいけないので、検討委員会を設けて検討していくが、各市町へは情報提供を行っていくとともに、ご意見を賜りながら、ご協力をお願いしたい。

【副知事】来年度には、県民センターを中心に、市町との意見交換・情報共有を行う場づくりを考えている。詳細が決まり次第、連絡いたしたい。